

# 1 住宅の属性

## 住宅面積

住宅の延べ床面積は平均 138.2 m<sup>2</sup>(11 年度調査 145.6 m<sup>2</sup>) で、分布では「125 m<sup>2</sup> ~ 150 m<sup>2</sup>」(40.5%) が最も多い。面積分布を見ても「150 m<sup>2</sup>以上」は減少し、「150 m<sup>2</sup>未満」が増加しており、全体的にやや狭くなっている(図 1)。

地域別にみると、最大の東北(147.0 m<sup>2</sup>)と最小の首都圏(132.3 m<sup>2</sup>)では 14.7 m<sup>2</sup>の開きがある(図 2)。

図1 住宅の延べ床面積

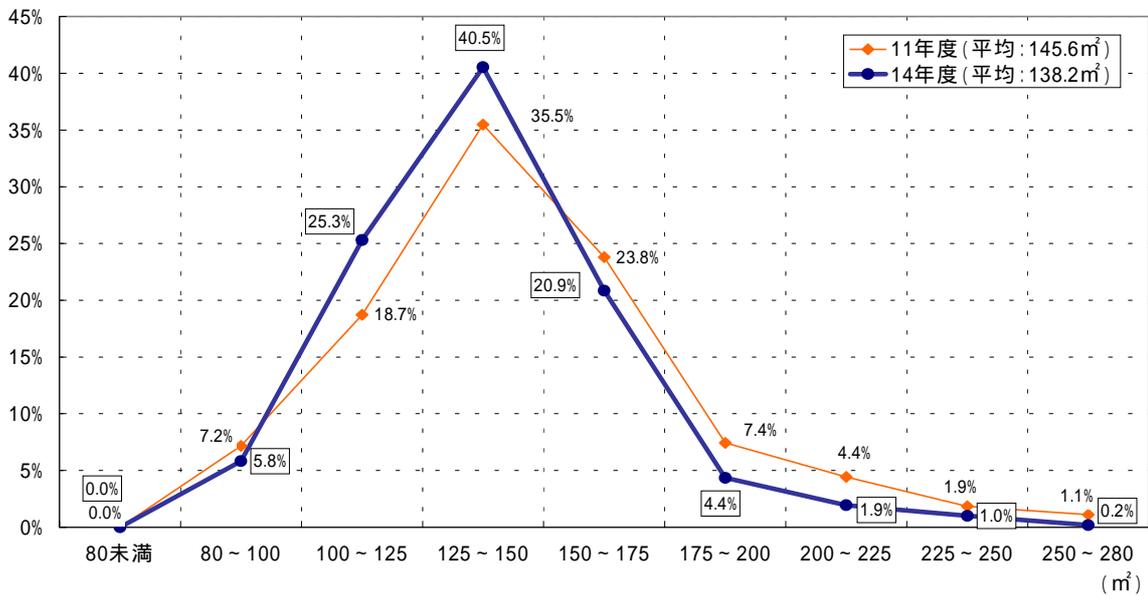
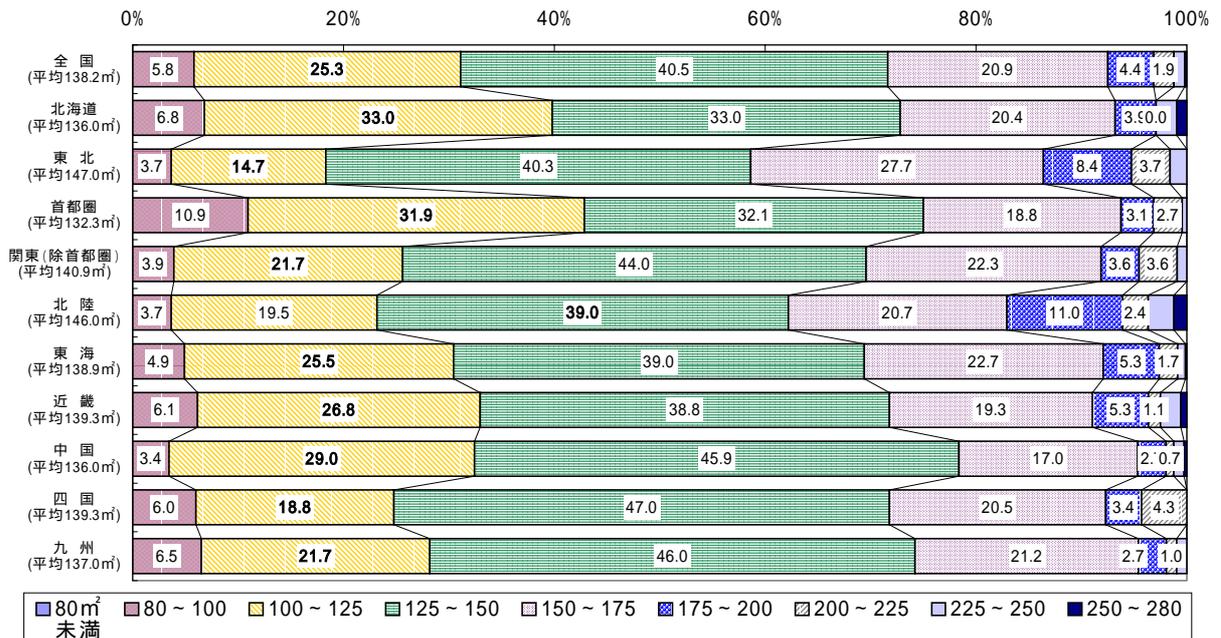


図2 住宅の延べ床面積の分布 (地域別)



### 工法

採用している工法を時系列でみると、「在来木造」(61.7%)が減少し、「枠組壁工法」(13.4%)が増加する傾向にある(図3)。

地域別にみると、「在来木造」のシェアが北海道(73.9%)、北陸(79.5%)、九州(76.4%)では全国平均より10ポイント以上多くっており、反対に首都圏(52.8%)、東海(58.5%)、近畿(45.9%)では全国平均を下回っている(図4)。

図3 工法

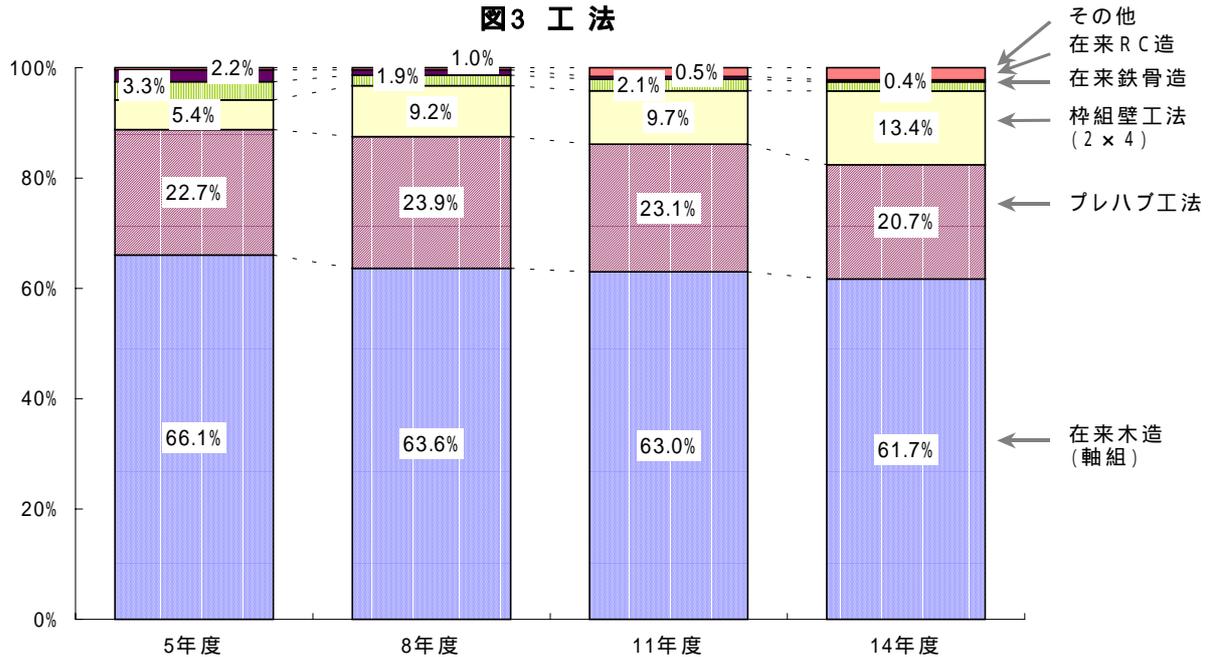
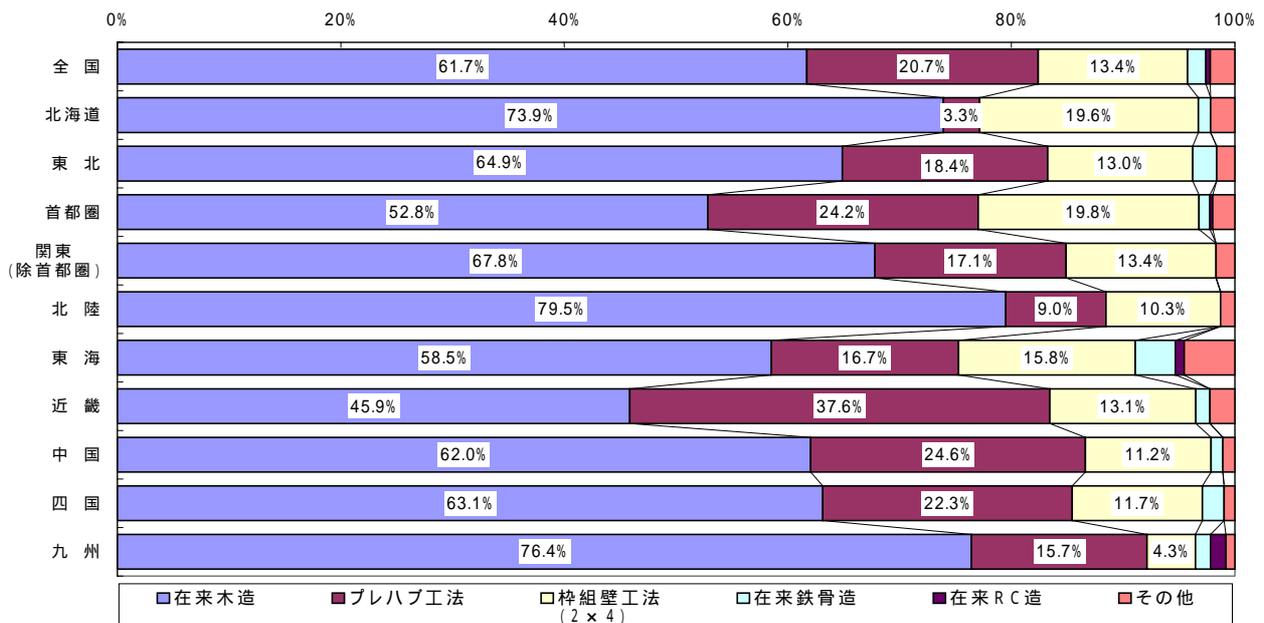


図4 工法(地域別)



### 地上階数

「2階建」の住宅が90.9%を占め、時系列でも分布に大きな変化は見られなかった(図5)。

工法別にみると、全ての工法で「2階建」が圧倒的なシェアを占める中で、在来木造で「1階建」(5.1%)、在来鉄骨造で「3階建」(31.9%)が見られる(図6)。

図5 地上階数

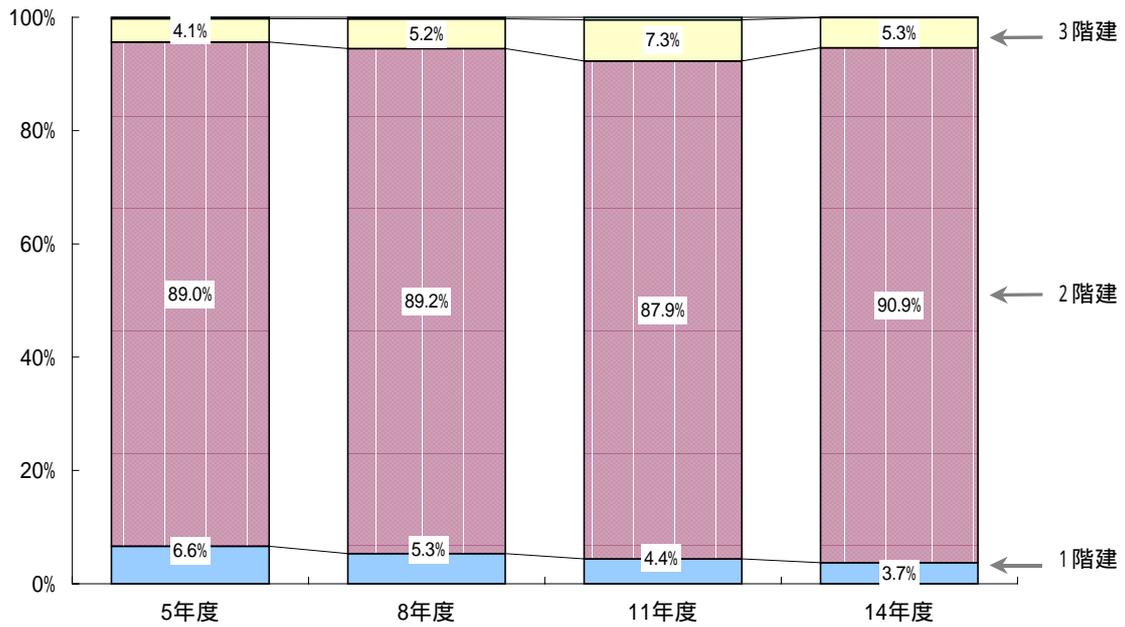
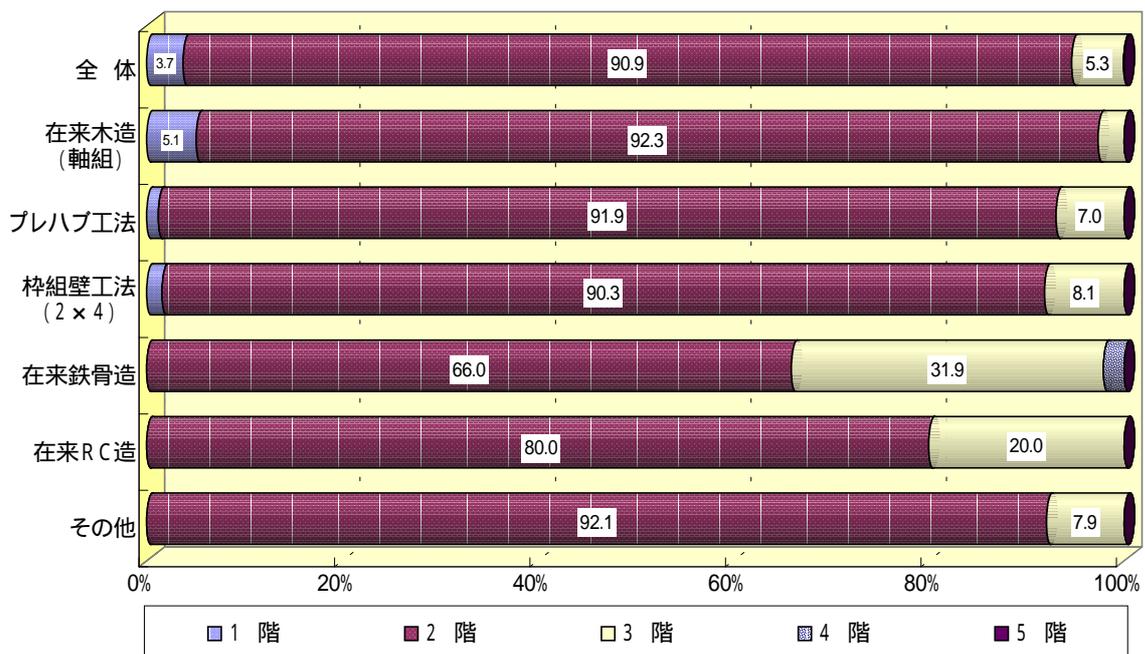


図6 地上階数(工法別)



### 建設費(工事請負金額)

全体の平均値は2479万円と11年度調査時点(2596万円)に比べて117万円減少している。価格帯分布では、2000万円台半ばの価格帯の割合が多い(図7)。

工法別では、在来木造(平均2339万円)、枠組壁工法(平均2446万円)に比べて、プレハブ工法(平均2782万円)、在来鉄骨造(平均2856万円)及び在来RC造(平均2885万円)が高価格帯に分布している(図8)。

図7 建設費(全国、首都圏、三大都市圏以外)

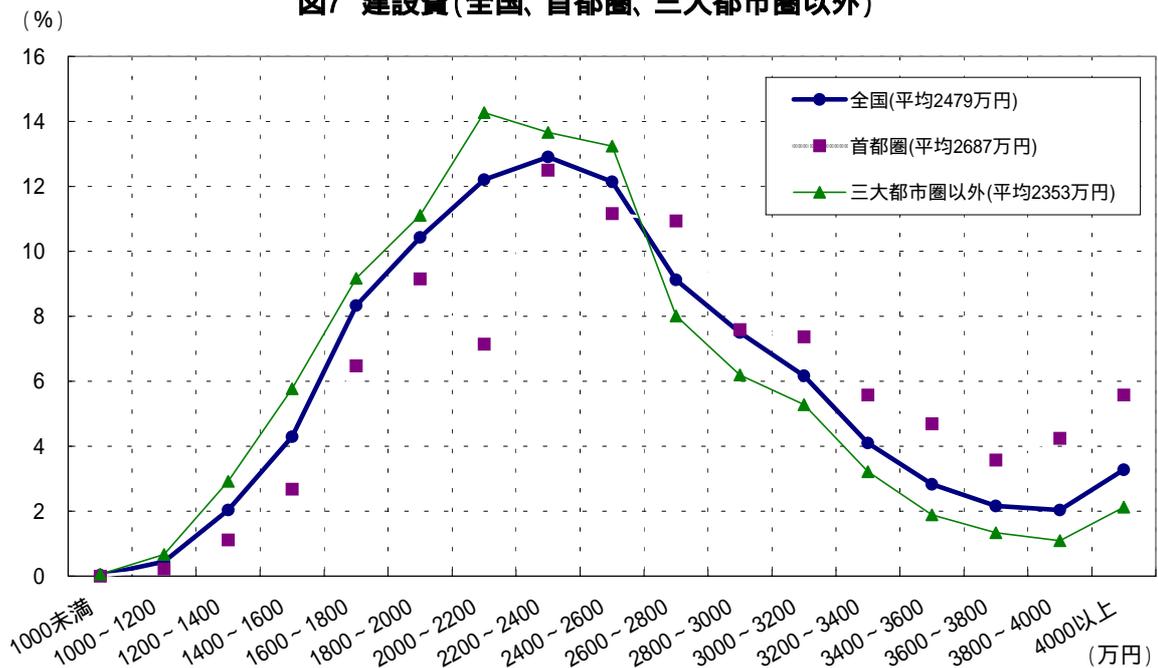


図8 建設費の分布(工法別)

